

# Urban Design Lab Magazine

## 新年度スタート！ —プロジェクト報告会&まち大生仕事を語る—

Spring has come! - Presentation of Lab's PJ & MPS students' talking session -

4月10日(水)に開催された2012年度プロジェクト報告会と「まち大生仕事を語る」についてご報告します。どちらも、研究室メンバーの日頃の取り組みについて共有する貴重な機会となりました！

### プロジェクト報告会

text\_hagiwara

プロジェクト報告会では、出口研究室の田村PJを含めた9つのPJから活動報告が行われました。普段はなかなか聞けない、他PJの活動内容や考え方を聞くことで刺激を受けると共に、各自の関わるPJの現在地を眺めることができ、それぞれ決意を新たに2013年のスタートを切るよい機会となりました。

今回の報告会では会場の教室が満席になるほど、研究室内外から多くの方にお越しいただいて、研究室の活動内容を広くアピールすることが出来ました。それぞれの活動は、研究室と地元の方々との関係に収束しがちですが、こうした場をきっかけにして、今後は研究室外部の方とも議論できる場所を増やしていけたらと思います。



▲会場はほぼ満席となりました！

### まち大生仕事を語る

text\_fukushi

PJ報告会後は農学部のアプルポアにて、まちづくり大学院1期の高橋正樹さんの企画による「まち大生仕事を語る」と題した会が開催され、12名のまち大生の方々とゲストのUDCK副センター長・三牧浩也さんに、日頃のお仕事について紹介していただきました。学部生も多く集まり、普段なかなか聞けない個性豊かなお話に、学生も先生方も興味津々でした！



▲高橋さんを始め、盛りだくさんの発表

▲三牧さんによるUDCKの取組の紹介

### 語る会開催の経緯

まちづくり大学院1期 高橋正樹

昨年の忘年会の席上、窪田先生から、「昼間の学生さんに、社会のことを知ってもらえる場がつかれないか」との相談を受けました。都市デザイン研究室でお世話になっているまちづくり大学院の現役学生・OBと先生方と相談し、学生さんとの親睦を兼ねて、社会人であるまちづくり大学院の学生が、仕事の現場の実体験を語る場をつくることとなりました。まちづくりといっても、さまざまな職業があることを知っていただき、最先端のまちづくりの現場の雰囲気を感じていただき、将来の就職・職業選択の参考にしていいただければ幸いです。

## 中島伸特任助教、ご就任！

Mr. Shin Nakajima took up a post as project assistant-professor!

3月に博士課程を修了され、4月から東京大学先端科学技術センターの特任助教に就任された中島伸先生に、抱負を語っていただきました！

中島 伸 特任助教



▲博士課程修了の際の追いコンにて

4月1日より先端研の特任助教に着任しました中島伸です。昨年度、博士論文を提出し、今回ご縁あって学び舎である都市デザイン研究室で働くことができ大変光栄に思っています。私は、歴史研究をベースに、現代の都市デザイン・まちづくりに生きる都市空間の計画論とはどのようなものであるかを追求するべく研究活動を行っています。都市部に多くの人口が集中する中で、これまでに計画され、造成され、多くの市民によって生きられた都市や地域が持つ意味は大きく、それらを無視した新しい計画はないと思います。私は今まで以上に現場に出て、これまでの時間の蓄積から育まれた都市の意図を読み解き、次の都市の暮らしが見える空間づくりのお手伝いがしたい。20世紀後半は、様々な都市が抱える矛盾があぶり出された時代でもあり、その先の時代である21世紀はこれまでの課題、失敗や反省の中から対立軸を越えた新たな希望も見出されなくてははいけません。歴史に学ぶ中で、ネガティブや困難さをポジティブに変える力、論理を自分としては持ちたいと思います。研究室の皆さんとは出来ることをこつこつと、志を持って議論していきたいと思っておりますのでよろしく御願いたします。



# 14名の新たな旅立ち

## Happy graduation!!

— 2012年度追い出しコンパ開催 —  
- Farewell Party 2012 -



神楽坂で盛大に開催された追い出しコンパにて、14名の研究室メンバーを送り出しました！

text\_fukushi

3月25日(月)、神楽坂にて都市デザイン研究室の追い出しコンパが行われ、博士5名、修士7名、学部2名の卒業を祝いました。プロジェクトや研究室旅行などでの思い出の写真を集めたムービー上映に始まり、卒業のご挨拶やオリジナルペンの贈呈など、別れを惜しみつつあっという間に時間が過ぎてしまいました。卒業のご挨拶からは、研究室やまちづくり、これから進んでいく道に対するそれぞれの熱い思いが感じられました。二次会には横浜国立大の野原卓先生や研究室OB・OGの方々も駆けつけてくださり、いつまでも話の尽きない楽しい会となりました。卒業された皆さんの各々でのますますのご活躍をお祈りしております。



▲研究室への熱い思いを語る



▲ご卒業おめでとうございます！



▲記念撮影を楽しむ大森前編集長と黒瀬助教

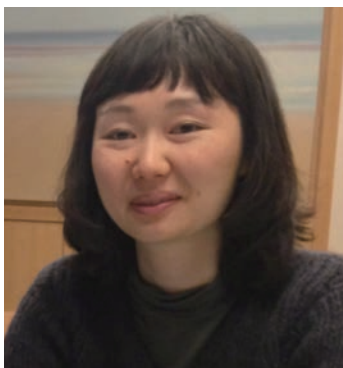
## 江口さんからの置き手紙

### Message from Dr. Eguchi

4月から京都大学大学院の学振特別研究員になられた江口久美さんから、研究室へのメッセージをいただきました。

江口 久美 元客員研究員

4月より、京都大学大学院人間・環境学研究科伊從勉研究室で学振特別研究員PDを3年間務めることになりました。私は、西村・北沢研究室に平成17年より修士から入学致しました。修士・博士にかけて八尾・鞆プロジェクトに参加させていただきました。私は、この研究室の一番の特色は、自分の研究とフィールドでのまちづくりへの参加の実践を両立できる点だと考えておりますが、現場で住民の方と話したり、町歩き調査を行ったりした体験は、現在のフランス研究でも常にまちのあり方を現実的に再考するという思考方法の原点となりました。また、博士2年からのEHESSへの留学は、日本のまちづくりへの相対的な視点を得るきっかけとなりました。修士・博士の皆さんは、ぜひ先生・諸先輩方の素晴らしいご指導のもと、学生の間には様々な経験を積極的に積んでください。また、西村先生・窪田先生には在学中大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 演習 TA 始動！

### Working as Teaching Assistants

学部3年生の集合住宅設計演習に向けて、新TAの仕事が始まりました。M1高梨くんから、事例見学の報告です。

M1 高梨 遼太郎

5月から始まる学部3年生の地区開発計画演習の見学事例の更新のため、黒瀬先生と新TAのM2越村・萩原、M1高梨で3月30日(土)、集合住宅の事例見学を行いました。雑誌で見ると良いと思われた事例であっても、敷地内に立ち入れるような物件はなかなかなく、満足に見学事例として機能しそうなものも少なくありませんでした。先代の講師陣の偉大さを実感し、マイナーチェンジが中心で、桜が見ることができたことが一番の収穫になりかねない…と置いていたところ、最終事例として羽根木インターナショナルガーデンハウスに出会うことができました。既存樹を活かした配置とガラスのファサード、多様な住棟と入口、敷地外とのつながりなど学ぶ点は多く、3年生が何を読み取ってくれるか楽しみになりました。この事例を推薦して下さった仲田先生、ありがとうございました！



▲新年度の演習に思いを馳せる



▲既存樹を囲む羽根木の住棟

### 編集後記

福士 薫

第9代都市デザイン研究室マガジン編集長になりました、修士2年の福士薫です。本当はもう少し大々的に就任のご挨拶をしようと思ったのですが、新年度が始まって早々予想以上に話題が盛りだくさんとなりました。情報発信のほうを優先させていただき、この編集後記をもって就任のご挨拶とさせていただきます。普段は非常にぼんやりした人間ですので、伝統あるマガジンの編集長が自分に務まるのか不安でいっぱいですが、皆様にたくさんのお話をお届けできるよう、常にアンテナを張ってまいります。至らぬ点も多いかと思いますが、今年度もご愛読よろしくお祈り致します。

4月の予定

4月14～16日 大槌PJ現地調査  
4月16日 第1回研究会議

Information